

クロマツ探検隊Ⅰ

5月9日(木)、当センター参加としては今年度2回目となる「みどりの保育園」推進事業を西荒瀬保育園で実施しました。昨年は雨となり屋内での探検隊でしたが、今年は見事に快晴で西荒瀬保育園近くの「しんちゃん森」で実施しました。参加者は保育園から年長児27名、保育園職員4名、当センターからは3名で計34名でした。まず、センター所長から森は生き物のおうちです、森の中には悪い植物もあるので触ったりしないようにしましょうという挨拶の後、これから向かうしんちゃん森にも届くよう園児達によるクロマツの歌が披露されました。その後、出発式にてエイエイオーというかけ声の下クロマツ探検隊始動です。



クロマツ探検隊出発、エイエイオー！

始めにクロマツの年齢は、枝が発生している箇所を下から数えていくと何歳か分かるんだよと説明を受け、若いクロマツを皆で一緒に「いーち、にー、さーん」と数え「10歳だ！」と分かった後、本格的に森の中へ入って行きました。森に入って早々に気をつけなければならない植物、ヌルデとツタウルシが目の前に立ちはだかりました。危険な植物を覚え皆で注意しながら進み、カミキリムシが入って枯れてしまったマツの処理方法、切り株の年輪を数えても何歳か分かるんだよということを学びました。探検の途中では、優秀な隊員達により割られたクルミ、樹冠から落ちた鳥の巣、キツツキが開けた穴等、動物が住んでいる痕跡が次々と発見されていきました。



サギさんどこかな？



ウラシマソウから伸びる釣り糸・・・

その後、サギが営巣している森を双眼鏡や望遠鏡を使って観察し、保育園への帰り道には万華鏡作りの材料となるお花を集めました。世界に一つだけの万華鏡ができ、見せ合ったり、センター職員や先生に「見て見て！どう、綺麗でしょ！」と出来映えに満足している様子でした。最後に園長先生から今日は森で危ない植物から綺麗な花、キツツキの開けた穴まで色々な発見がありましたねというお話をいただき、クロマツ探検隊は無事終了しました。



万華鏡の中はキラキラな世界

探検隊任務完了！！

